

● 道路情報館

<http://www.sp.hkd.mlit.go.jp/jouhokan/>



札幌市南区の国道230号沿いにある「道路情報館」

ここは、家族みんなで一緒に、北海道の道路のことを、見て、知って、楽しめる場所なんだ。

入り口では「Mr. Do」がお出迎えしてくれるよ！

中に入ると、大きなマルチスクリーンで、峠の様子や天気情報などが一目でわかるようになっているんだ。

クルマを運転してくれるお父さんも安心だね。

クルマを運転できない君には、簡単に触ることのできる道路情報端末もあって、いろんな情報を見たり、クイズを楽しむこともできるし、ドライブ・シュミレータでクルマに乗った気分になることもできるんだ。

この他にも、道路の仕組みや働き、歴史もわかるようになっているからドライブの途中に寄ってみよう！



道路情報館 外観



マルチスクリーン



道路情報端末



みちの体験コーナー

● 北の道ナビ

<http://nortnen-road.jp/navi/>

インターネットのホームページを見たことがある人は、いっぱいいると思うけど、見たいページって、なかなか見つからないよね。

クルマでドライブするときも、出かける前にお父さんがホームページで道路が通れるか、どんな道路を通っていくか探している人もいるんじゃないかな。そんなときに役に立つのが「北の道ナビ」というページなんだ。

「北の道ナビ」では、北海道の道路のいろんなことがわかるだけでなく、観光やお天気のページへもアクセスできるようになっているから、ドライブのときなんかは便利。だから、お父さんにも教えてあげてね。

北海道の212市町村のシンボルマークの

「カントリーサイン」も見れるよ。

自由研究や社会の勉強にもきっと役立つよ！



カントリーサインは、まちのシンボルと市町村名を一体化した標識で、道路のランドマークのひとつとして市町村の境界に設置されています。



「北の道ナビ」ホームページ

## ● ノンストップ自動料金支払いシステム（ETC）

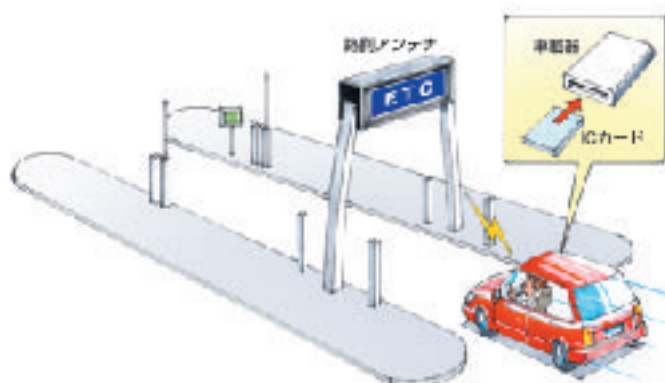
ノンストップ自動料金支払いシステムはETCって言うんだよ。

ETCは最新の情報通信技術を使って、クルマを便利に安全にする仕組みなんだ。

高速道路は通った距離によってお金を払うんだけど、お金を払う料金所ではクルマが渋滞するなど、いろんな問題があるんだ。

ETCでは、クルマが専用のゲートを通るときに自動的にお金を払うことができるので、渋滞もなくなるというわけさ。

夏休みやお正月におじいちゃんやおばあちゃんのお家に行くとき、高速道路を通ることがある人は注意して見てみよう！



ETCイメージ図



ETCゲート

## ● 道路交通情報通信システム（VICS）

まちにクルマで出かけるとき、渋滞していたり、駐車場がいっぱいだったりしてイライラするときってあるよね。

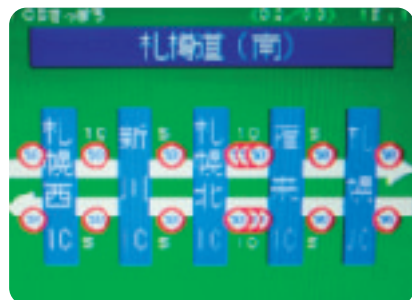
VICSはこんなときに活躍するんだ。

最近カーナビゲーションが普及してきてるよね。

VICSはいろいろなところから集めた道路の情報を、みんなの役に立つことだけまとめてカーナビゲーションに送る仕組みなんだ。

たとえば、この先の道路が工事中で通行止めだったりしてもVICSが『工事中』って教えてくれるから、最初から違う道路を選んで行けばいいし、はじめから渋滞してる道路がわかっていれば、まちに行くまでイライラしないですむよね。

これからは、もっとカーナビゲーションも普及してくるし、どんどん便利になっていくんだよ。



速度規制情報



迂回情報



交通事故情報

● 冬季道路交通情報システム <http://www.city.sapporo.jp/kensetsu/yuki/>

北海道の冬は雪や寒さで学校までの道路を歩くのも大変だよ。

世界の中でも、札幌市のように人口が180万人をこえるような大都市で、毎年たくさんの雪が降るところはすごくめずらしいんだって。

札幌市では、冬季道路交通情報システムを使って、みんなの冬の暮らしをより安全に快適にしているんだよ。このシステムは、気象レーダやマルチセンサといった機械で、札幌市内の気温や風、雪の降り方なんかのお天気の様子を常に調べているんだ。

こういったお天気の情報は、みんなが学校に行くときやお父さんが会社に行く前までに道路の除雪をするのに、役立っているんだよ。



気象レーダ



冬季道路交通情報システム

● 寒冷地AHSの研究開発 <http://www2.ceri.go.jp/>

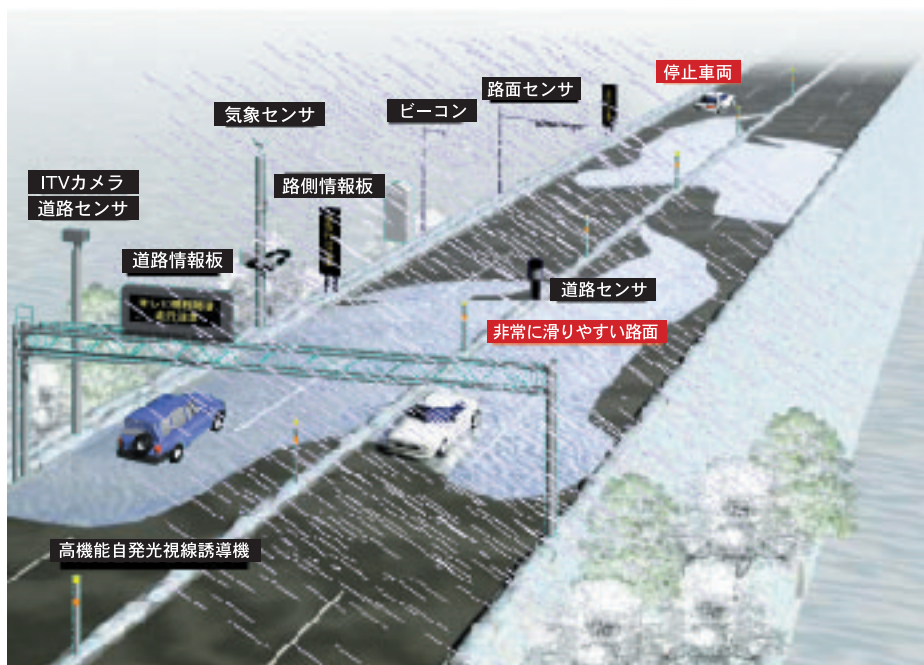
交通事故は怖いよね。AHSは交通事故を防ぐための道路の仕組みなんだ。

冬は吹雪になったり道路が凍ってツルツルになったりするから特に注意が必要だね。

寒冷地AHSは、吹雪で前が見えなくても光で道案内したり、前に止まっているクルマを見つけてドライバーに注意したりして、事故にならないように助けてくれるシステムなんだって。

きびしい冬の道路でも事故にならないように、工夫しているのが寒冷地AHSなんだ。

寒冷地AHSは北海道開発土木研究所で研究されているんだけど、早く完成して交通事故が少しでも減ってほしいね。



寒冷地AHSイメージ図

### ● 札幌市公共交通情報提供システム

<http://ekibus.city.sapporo.jp/>

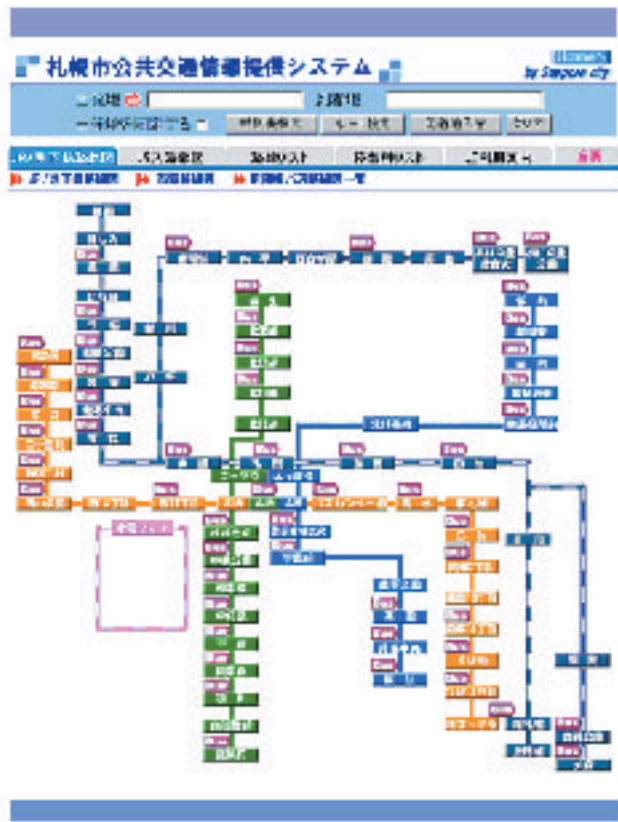
普段行かないところへ行くときは、地下鉄やバスを使うよね。

でもどうやって行けるのか、なかなかわからないことも多いよね。

そんなときに役立つように、札幌市では行きたいところまでの地下鉄やバスなどの公共交通機関の乗り方や時間がわかるようにしているんだよ。

パソコンだけでなく、携帯電話でも調べることができるので、一人でおじいちゃんのところにお使いに行くことになって大丈夫。

こういった情報は、お年寄りや札幌に遊びに来る観光客の人にも役立つものなんだよ。



公共交通情報提供システム・ホームページ

「札幌市公共交通情報提供システム」ホームページ



バス路線図



路線リスト

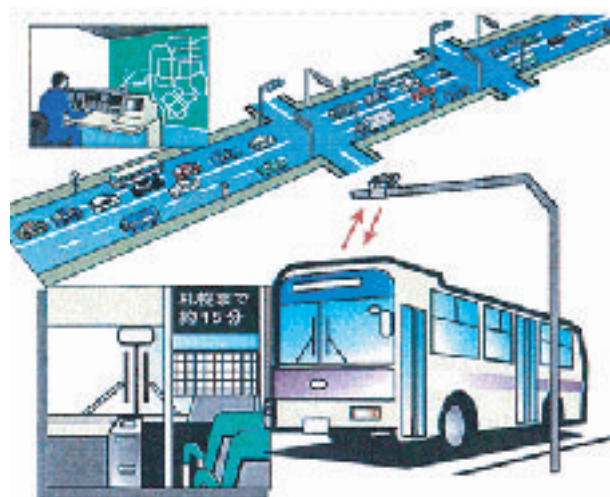
### ● 公共車両優先システム (PTPS)

冬になると、大雪になったりツルツル路面で道路が渋滞して、バスがなかなか進まないことがあるよね。

でも今は、PTPSという仕組みがあるから、前よりも良くなってきたんだよ。

PTPSというのは、バスが専用のレーンを走っているときに、信号にバスが近づくと自動的に青信号にして、バスを進みやすくする仕組みなんだ。

これで大雪のときでも渋滞や信号待ちでバスが遅れることも少なくなったわけさ。



PTPSイメージ図

出典：社会法人新交通管理システム協会  
<http://www.utms.or.jp/japanese/system/utms/ptps.html>